

# 第3回「明日の京都」ビジョン懇話会

## テーマ：「働く」

- 論点1：「何のために働くか」(価値観)
- 論点2：「どのように働くか」(社会システム)
- 論点3：「地方に働くために」(現地現場問題)

## 【論点 1】

## 何のために働くのか？

### 資料 「お金のため」と考える人が増えている現状について

- 働く目的を「お金を得るため」とする人が約半数(図1 - )
- 30代、40代では6割超(図1 - )
- その反面、「収入の増加」に仕事の満足を感じる人の割合は年々低下(図1 - )

### 資料 仕事に「生きがい」や「やりがい」を見つけることについて

- 働く目的に「生きがいを見つける」という人が約2割(図1 - )
- 20代～40代では「生きがいを見つけるため」に働く割合は約1割(図1 - )
- 「仕事のやりがい」に仕事の満足を感じる人の割合も年々低下(図1 - )
- 新入社員では「仕事のおもしろさ」で会社を選択する割合が年々増加(図1 - )

ご意見をいただきたいこと

「働くこと」の価値をどこに求めるべきと考えますか？

また、そのためには、どんなことをしていかなければならないとお考えですか？

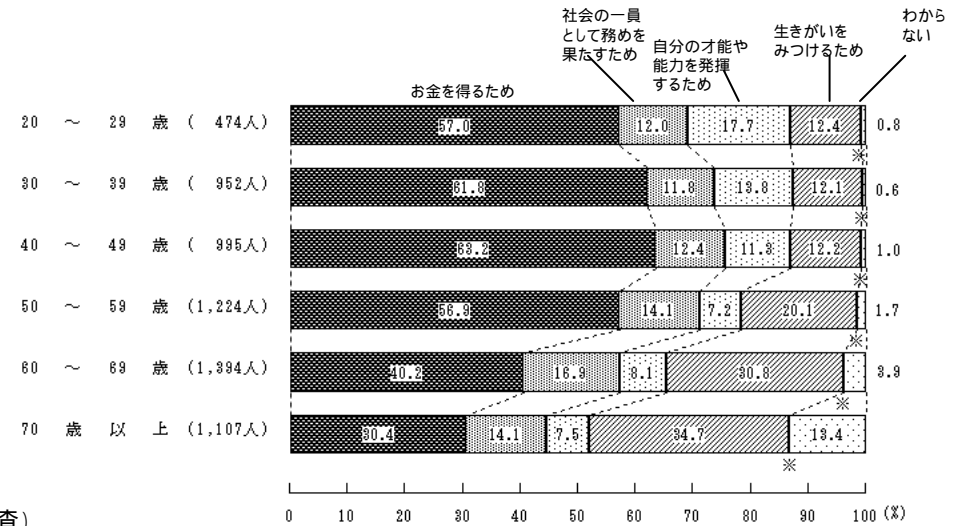
(図1- ) 働く目的は何か

単位: %

お金を得るため	50.1 (34.0)
生きがいを見つけるため	22.0 (33.1)
社会の一員としての務めを果たすため	13.9 (16.9)
自分の才能や能力を発揮するため	9.9 (12.7)

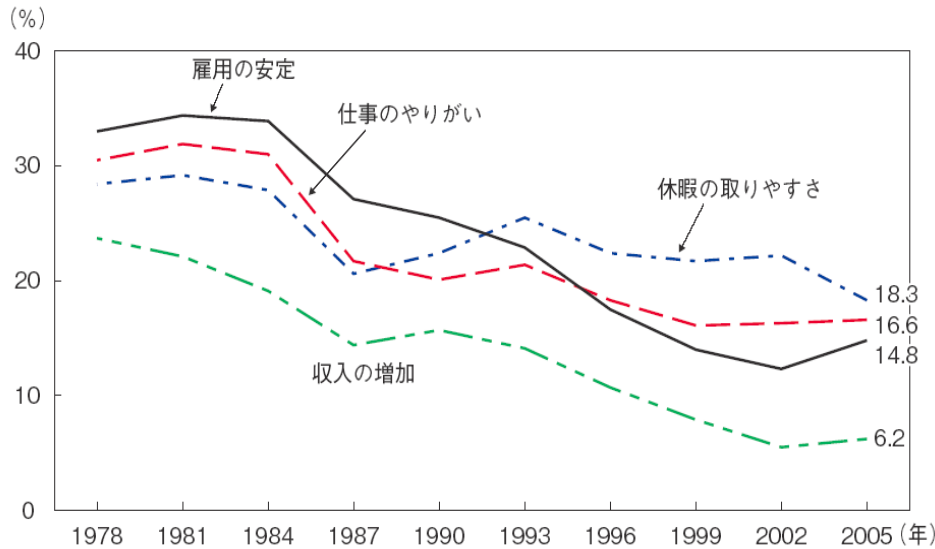
出典: 内閣府「国民生活に関する世論調査」(上段:平成20年調査、下段:平成9年調査)

(図1- ) 年齢階級別働く目的



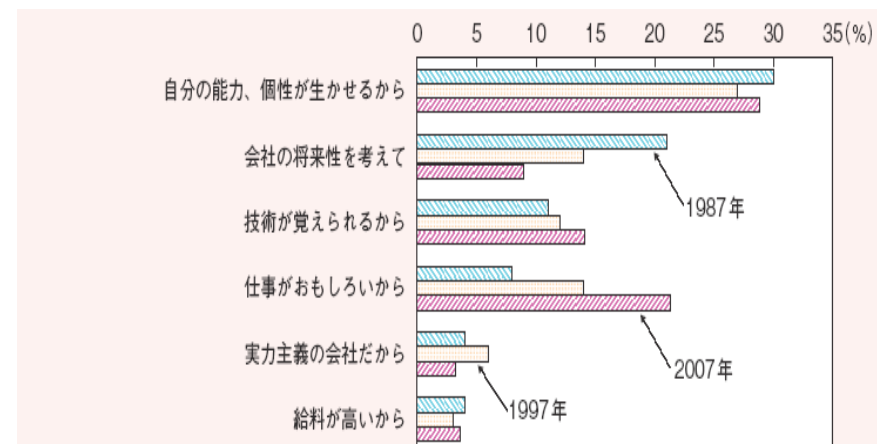
出典: 内閣府「国民生活に関する世論調査」(平成20年)

(図1- ) 仕事の満足度



出典: 厚生労働省「平成20年版労働経済の分析」

(図1- ) 新入社員の会社の選択理由



出典: 厚生労働省「平成20年版労働経済の分析」

## 【論点 2】

## どのように働くか？

### 資料 それぞれのワークライフバランスを実現しにくい現状について

- 希望とする生活と現実の生活の一致は1割台(図2 - )
- 国際的に見て長い労働時間と困難な転職(表2 - )
- 他方で、働き方が多様化している現実(ワークシェアリング、フレックス、在宅勤務)(図2 - )

(参考)「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と生活の調和を言い、平成19年12月に政府が策定した「ワーク・ライフ・バランス憲章」では、仕事と生活の調和が実現した社会は、国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会とされている。

### 資料 働き方によって格差が生じている現状について

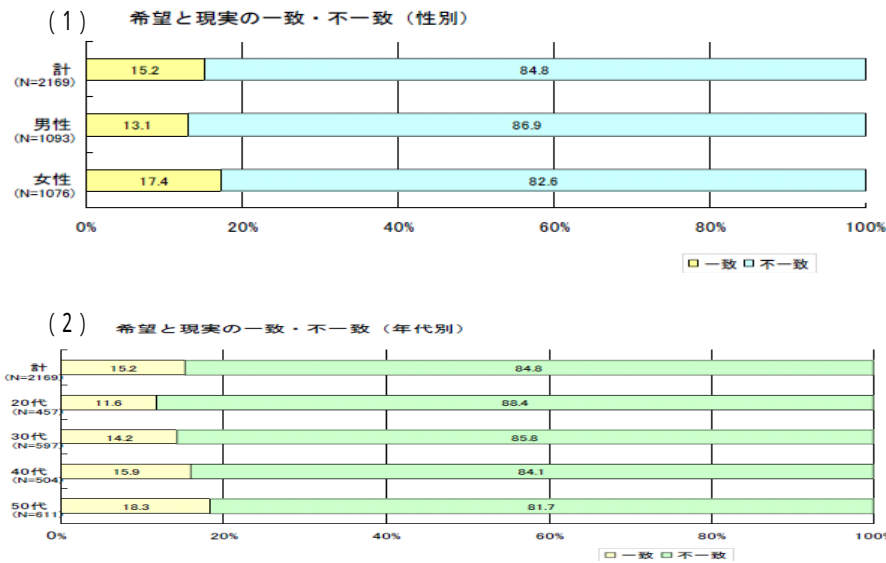
- 雇用者の約3人に1人が非正規雇用者(図2 - )
- 正規・非正規、男・女、年齢による賃金格差(図2 - )
- 国際的に見て低いパートタイム賃金比率(図2 - )
- 正規・非正規による教育訓練等の格差(図2 - )
- 日本型雇用慣行を評価する意見の高まり(図2 - ))

ご意見をいただきたいこと

どういう「働き方」ができたらいいと考えますか？

また、そのためには、どんなことをしていかなければならないとお考えですか？

(図2 - ) 希望とする生活と現実の生活の一致・不一致  
(男女別・年代別)



出典: 内閣府「仕事と生活の調和に関する意識調査」(平成20年)

(表2 - ) 仕事と生活の両立可能性

分類	I. 仕事と生活の両立可能性			
	1. 適正な労働時間	2. 働き方の柔軟性		
指標番号	1	2	3	
指標項目	労働時間の短さ	男性の短時間就業割合の高さ	転職の容易さ	
点 数 化	日本	35.8	42.9	35.6
	オーストラリア	57.7	73.9	-
	オーストリア	58.0	35.8	-
	ベルギー	53.0	49.9	-
	カナダ	70.0	59.9	56.7
	デンマーク	-	56.7	60.5
	フィンランド	55.5	49.9	-
	フランス	47.4	44.9	45.5
	ドイツ	48.1	42.7	39.4
	ギリシャ	41.0	37.1	-
	アイスランド	41.4	55.2	-
	アイルランド	50.3	52.1	-
	イタリア	46.3	45.5	42.0
	韓国	21.1	43.6	-
	ルクセンブルク	-	34.0	-
	オランダ	49.0	69.5	53.3
	ニュージーランド	61.3	62.0	58.0
	ノルウェー	59.2	54.9	63.4
	ポルトガル	54.0	43.0	40.5
	スペイン	56.7	35.8	39.8
スウェーデン	53.4	50.5	50.3	
スイス	55.2	53.9	45.0	
イギリス	44.7	54.6	48.5	
アメリカ	41.0	51.7	71.6	

(注) 元データが把握できていない項目は「-」で示している。

注: 表内の数値は、内閣府により各国の社会環境を比較検討できるよう、選定した指標データを標準化(偏差値)し「スコア化」されたもの

出典: 内閣府男女共同参画会議「少子化と男女共同参画に関する社会環境の国際比較(報告書)」(平成17年)

(図2 - ) 多様就業型ワークシェアリングの取組事例 出典: 厚生労働省HPより

多様就業型ワークシェアリングとは短時間勤務や隔日勤務など、多様な働き方の選択肢を拡大することについて社会全体で取り組むワークシェアリングです。

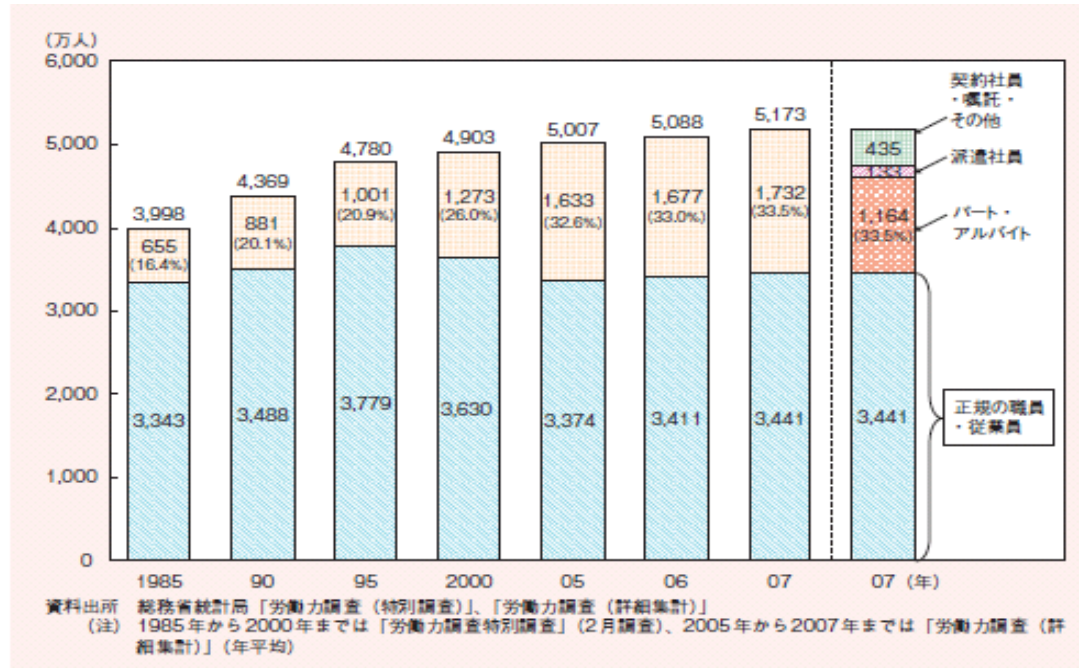
### E社(電気)

高度な知識や経験を持つ人材を育成するため、自己啓発など私生活の充実を求める従業員を支援する短時間労働勤務制度を導入。週当たりの勤務時間を8~6割に短縮(1日の勤務時間短縮又は週3~4日勤務)

### H社(小売)

意欲と能力のある人材の活用を図るため、パートタイム労働者の本格的な基幹労働力化を推進。従来の正社員とパートタイム労働者の雇用区分を廃止し、勤務形態(フルタイム又はパートタイム)と異動範囲(転宅可能かどうか)の違いによって契約区分を4つに分ける等により、社員の配置、育成と処遇を統合

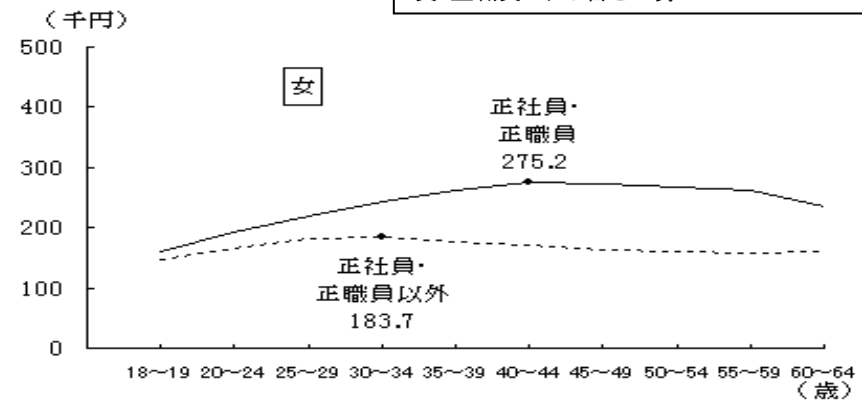
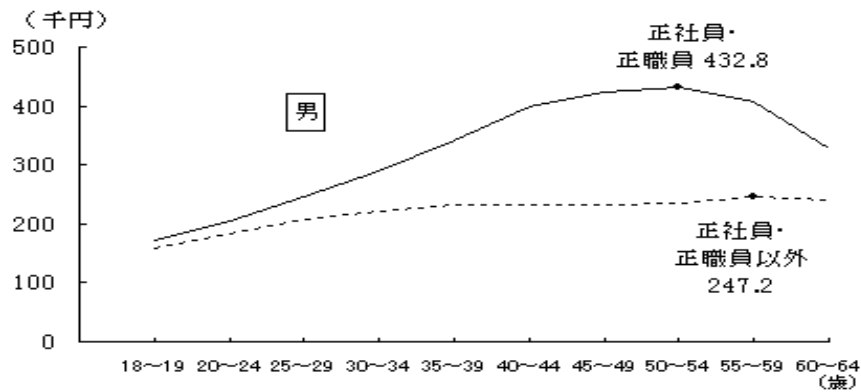
(図2 - ) 雇用形態別雇用者数の推移(正規の職員・従業員と正規以外の職員・従業員)



出典:厚生労働省

「平成20年版労働経済白書(労働経済の分析)」

(図2 - ) 雇用形態、性、年齢階級別賃金

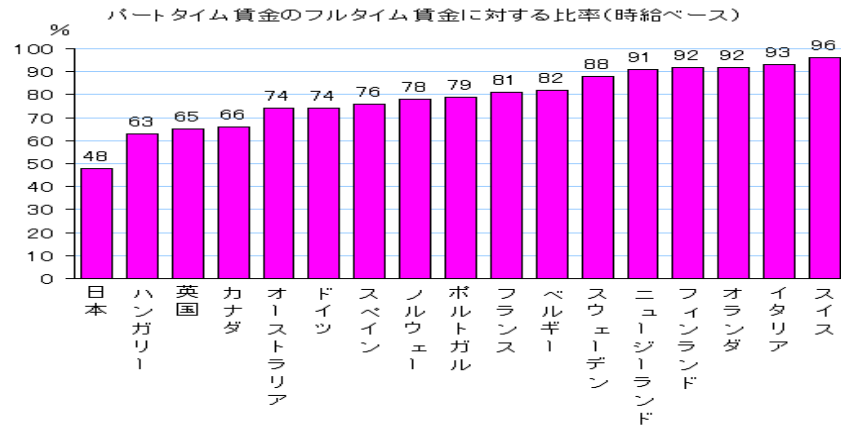


(用語の説明)

・「正社員・正職員」は、厚生労働省賃金構造基本統計調査による常用労働者のうち、事業所で正社員・正職員とする者をいう。

出典:厚生労働省「平成19年度賃金構造基本統計調査(全国)」

(図2 - ) パートタイム賃金の国際比較(2003年)



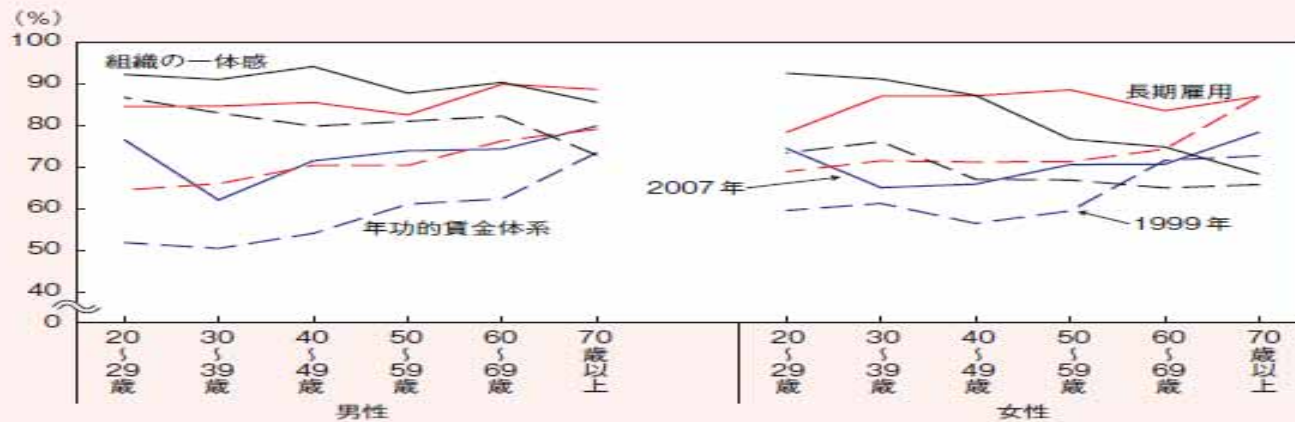
出典: OECD「TaxingWages2004/2005 2005Edition」

(図2 - ) 教育訓練等の実施状況

日常業務を離れての職業訓練(研修)	正社員	77.2%
	非正社員	40.9%
日常業務の中での教育訓練	正社員	45.6%
	非正社員	18.3%
自己啓発を行った労働者	正社員	56.4%
	非正社員	32.7%
うち費用の補助を受けた労働者	正社員	31.5%
	非正社員	19.5%

出典: 厚生労働省「平成19年度 能力開発基本調査」

(図2 - ) 日本型雇用慣行等に関する評価



資料出所 (独) 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」  
 (注) 1) グラフは実線が2007年、点線が1999年を示し、項目は色分けしてある。  
 2) 「良いことだと思う」「どちらかといえば良いことだと思う」の合計。  
 3) 長期雇用、年功的賃金体系は、調査上は、それぞれ「終身雇用」、「年功賃金」となっている。

出典: 厚生労働省「平成20年版労働経済の分析」



## 【論点 3】

## 地方に働くために？

### 資料 地方の産業の現状について(丹後地域等の事例より)

- 域内総生産の推移(表3 - )
- 人口・人口構成比の推移(図3 - )
- 丹後・中丹地域における誘致企業(表3 - )
- 丹後地域の観光入込客数の推移(図3 - )

### 資料 都市にはない地域資源に着目した事例

- 株式会社いろどり(はっぱビジネス(つまもの))(徳島県上勝町)(図3 - )
- 黒川温泉(熊本県南小国町)(図3 - )

### 資料 地方のハンディキャップをチャンスに変えた事例

- 岩手県高齢者福祉生活協同組合(岩手県盛岡市)(図3 - )
- ひだ林業建設業森づくり協議会(岐阜県飛騨地域)(図3 - )

ご意見をいただきたいこと

これからの「地方経済」や地方における「働き口」の可能性はどこにあると考えますか？  
また、そのためには、どんなことをしていかなければならないとお考えですか？



(表3 - ) 域内総生産の推移

丹後地域内総生産

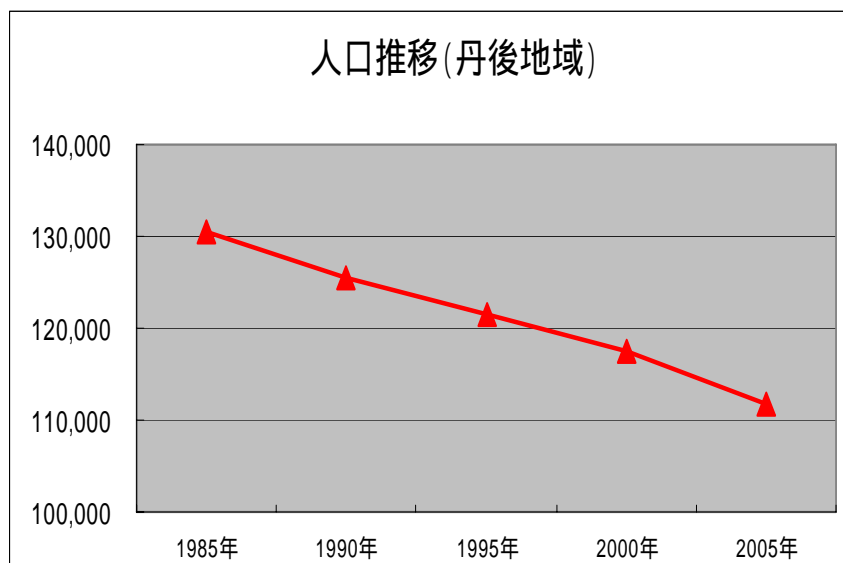
実数(単位:百万円)

項目	平成8年度	平成12年度	平成17年度	増減(8年度基準)(%)	構成比(%)
1 産業	312,566	299,427	279,477	89.4	81.0
農林水産業	12,823	10,546	8,505	66.3	2.5
鉱業	1,551	1,268	1,078	69.5	0.3
製造業	70,676	54,699	54,150	76.6	15.7
建設業	34,672	41,550	21,072	60.8	6.1
電気・ガス・水道業	18,150	11,663	8,455	46.6	2.5
卸売・小売業	45,707	38,830	33,406	73.1	9.7
金融・保険業	21,446	17,410	21,837	101.8	6.3
不動産業	37,402	39,989	41,624	111.3	12.1
運輸・通信業	16,869	17,157	16,913	100.3	4.9
サービス業	53,271	66,315	72,436	136.0	21.0
2 政府サービス生産者	52,438	55,822	56,230	107.2	16.3
3 対家計民間非営利サービス生産者	6,725	7,011	9,212	137.0	2.7
小計	371,729	362,259	344,919	92.8	100.0

\*実際の総生産額から税や帰属利子等控除を考慮していません

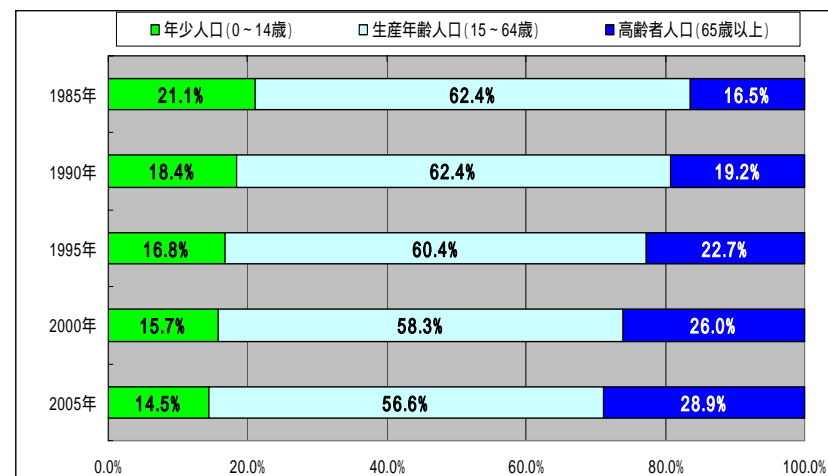
出典:京都市「平成17年度きょうとの市町村民経済計算」

(図3 - )人口・人口構成比の推移



出典:総務省「国勢調査」

人口構成比推移(丹後地域)



出典:総務省「国勢調査」

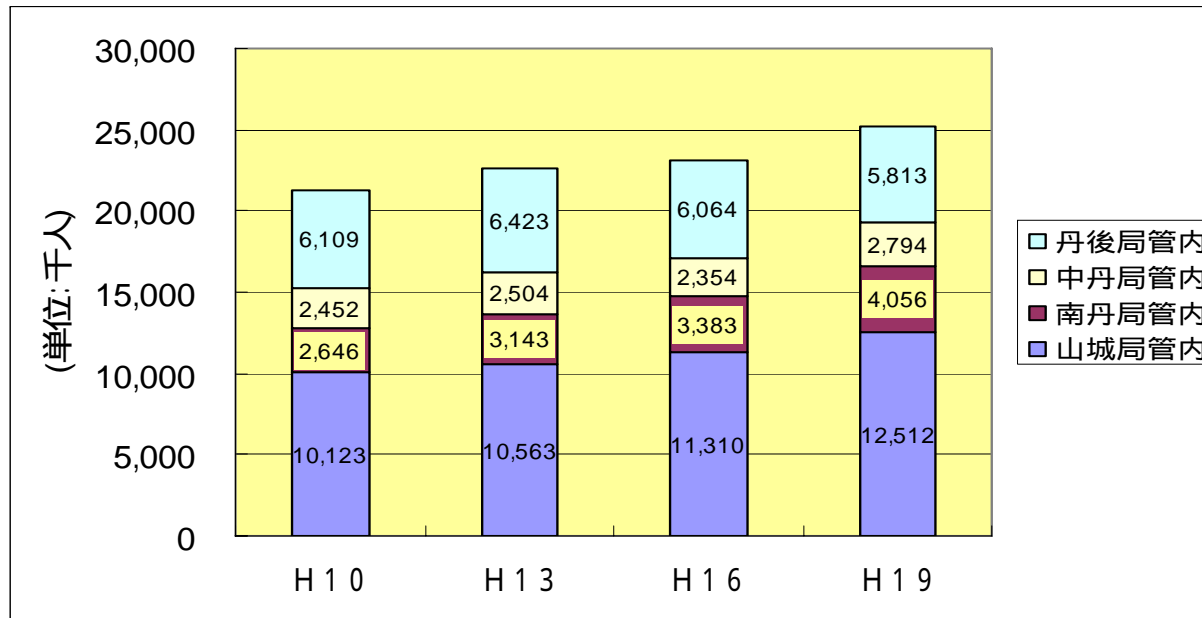
(図3 - ) 丹後・中丹地域における誘致企業

北部地域における誘致企業一覧 (平成13年度以降 19. 5. 31現在)

年度	企業名	業種	立地市町村	合計
13	近畿コンピュータサービス(株)	ソフトウェア業	福知山市	12社
13	三ツ星ベルト(株)	ゴム製品製造業	綾部市	
13	(株)ベルテックス	精密プラスチック製品製造業	綾部市	
14	(株)関西丸和ロジスティクス	貨物運送業	綾部市	
14	日東薬品工業(株)	医薬品製造業	綾部市	
15	(株)クリエイティア	紙加工品製造業	福知山市(三和町)	
15	(株)野村佃煮	食料品製造業	福知山市(三和町)	
15	花伝院(株)	食料品製造業	綾部市	
16	サンキン(株)	鋼管等製造業	福知山市	
16	京セラSLCコンポネンツ(株)	電子部品・デバイス製造業	綾部市	
14	(株)浅田可鍛鋳鉄所	自動車部品製造業	福知山市(三和町)	
17	豊榮繊維(株)	繊維製造業	綾部市	
17	扶桑化学工業(株)	半導体研磨剤製造業	福知山市 *増設	
18	馨和工具(株)	自動車部品製造業	綾部市	
18	ケンコーマヨネーズ(株)	食料品製造業	舞鶴市	
18	(株)紫野和久傳	食料品製造業	京丹後市	
19	加美電機(株)	電子部品製造業	福知山市	
19	日本ピラー工業(株)	半導体樹脂製造業	福知山市 *増設	

(図3 - ) 丹後地域ほかの観光入込客の推移

出典: 京都府商工労働観光部資料



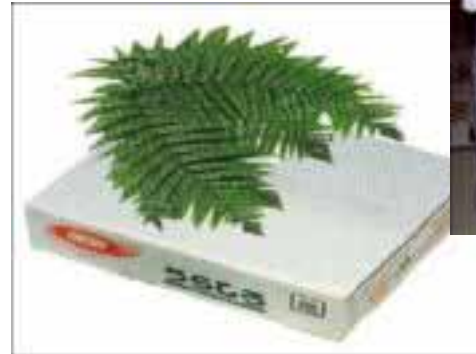
出典: 京都府商工労働観光部資料

**(図3 - ) 都市にはない地域資源に着目した事例**

**はっばビジネスが大成功(徳島県上勝町)**

**<株式会社いろどり>**

野山の花や枝葉を料理の「つまもの」として商品化。  
地域の女性や高齢者を中心に生産を拡大し、パソコンで生  
産・出荷を管理。年間販売額は昭和61年の100万円から  
現在2億円超。 <http://www.irodori.co.jp/>



**温泉地全体を一つの旅館と見立てる(熊本県南小国町)**

**<黒川温泉>**

黒川温泉を一つの旅館に見立て、温泉地全体で集客する戦略を展開。温泉旅館のコンセプトを「癒しの宿」と統一し、各旅館  
でおもてなしを徹底し、特に女性を優遇した施設づくりを実施。 <http://www.roten.or.jp/>

**(図3 - ) 地方のハンディキャップをチャンスに変えた事例**

**地域で高齢者を支える福祉をめざす(岩手県盛岡市)**

**<岩手県高齢者福祉生活協同組合>**

「生きがい・仕事おこし・福祉」の3点を活動の柱に、地域で他世代とも連携し高齢者自身が主人公となって、新しい福祉社会  
の創造を目指す非営利協同の組織。組合員は1,000人を超え、福祉事業を中心に(5事業所 - ゆたんぼ、たんぼぼ、おさん  
ぼ、ほっとくりやがわ、すずらん)事業高1億8千万円の地域密着型ビジネスを展開。

<http://i-koureikyou.cneti.ne.jp/~i-koureikyou/>

(子育てサポート、訪問介護、居宅介護支援、ミニデイサービス、生活支援事業など)

**異業種交流を通じて、活気ある林業の復活をめざす(岐阜県飛騨地域)**

**<ひだ林業建設業森づくり協議会>**

岐阜県飛騨地域(高山市、下呂市、飛騨市、白川村)では、担い手が不足する林業と新規市場開拓を模索する建設業の関係者  
が協議会を設立し、内閣府・元気再生事業に着手。建設業者は建設機械を改良して森林の間伐・搬出・植林に参加し、ノウハウ<sup>11</sup>  
や技術、機械を補い合い、持続可能な林業経営システムの確立をめざすもの。